

令和8年度 一般選抜問題 1期 【1日目】

政治・経済

1

次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。(33点)

農業基本法（1961年）を改めた食料・農業・基本法が1999年に制定されたが、我が国の農政は一貫して、農業の生産性向上と農業従事者の所得向上を目標としてきた。自立経営農家を増やすため、規模拡大とともに、畜産、果樹、野菜など需要の増加が見込まれる農作物生産の的拡大を図る一方、主食である米麦など食糧の生産や流通、販売は、1942年に制定された食糧管理法に基づいて、長く国が管理してきた。

国民の食生活多様化に伴いコメの需要が落ち込んだことから、1970年に、政府はいわゆる政策を採用した。その後現在に至るまで、コメの生産調整は実質的に維持されてきたが、転作は企図したとおりにとはかどらなかった。農家は農業以外での所得獲得を選んで化が進行した一方、コメ以外の農業生産が需要を満たすほどには拡大しなかった結果、我が国の食料率は低下して、食料の多くを海外に依存するようになった。

1993年、GATTのウルグアイ・ラウンドで、我が国は国内消費量の一定割合をアクセスとして輸入するコメの部分的市場開放を受け入れた。さらに1995年、それまでの食糧管理法にかわって新食糧法が施行されると、コメの価格、生産、流通において政府規制が大幅に緩和された。原理が導入されて計画外流通米が認められ、1999年には、1kgあたり341円のを支払えば、誰でも輸入できるようになった。

2000年代に入って、法などの改正によって、株式会社の農業への参入も本格的に認められるようになった。2011年からは、農業生産に要した費用が販売価格を上回る場合、その差額が交付金として農家に支払われる経営所得安定対策が本格的に導入されている。

農作物の流通に関しては、品質と安定供給の両面から食の安全を確保することも重要である。食品安全基本法は、食品表示の偽装を取締り、遺伝子組み換え食品を規制するなどしている。生産から消費までの過程を追跡可能にする制度の確立などにより、農産物の信頼性、生産性向上に取り組むとともに、不測の事態が

生じた場合の安定供給維持という食糧安全 の確保も、我が国農業の課題となっている。

問1 空欄 ～ に入る適切な語句を語群から選び、記号で答えなさい。

【語群】

- ア. 村落 イ. 集中 ウ. 副業 エ. 減産 オ. 自給
カ. 兼業 キ. 需給 ク. 選抜 ケ. 自足 コ. 取引
サ. ミニマル シ. 経営 ス. カレント セ. 手数料 ソ. 農村
タ. ミニマム チ. 関税 ツ. 集落 テ. 農場 ト. サステナビリティ
ナ. 保証 ニ. 増産 ヌ. 耕作地 ネ. 減反 ノ. 村落
ハ. 市場 ヒ. トレーサビリティ フ. 保障 ヘ. 農地 ホ. 選択

2

次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。

(33点)

人びとの集団において意見や利害の対立が存在するとき、これを調整して秩序を維持する作用が [1] であり、その目的のために集団の構成員を従わせる強制力を [2] と呼ぶ。広義の [1] は、家族・学校・地域社会・企業等、人びとの集団のどこにでも^{あらわ}顕れるが、諸団体が部内に対して有する [2] は、国家の認める限度内のものであるに過ぎない。社会集団としての国家には、[1] の機能が最も典型的に^{あらわ}顕れ、その [2] も他を圧して強大である。そのため国家の有する [2] は、[3] として他の [2] とは区別される。

国家は、[4] ・ [5] ・ [6] (領土) の三要素からなる社会集団であるが、現在、世界中のほとんどすべての人が、いずれかの国家に所属している。国家の最も重要な役割は、個人の [7] をできる限り妨げないように配慮しつつ、[4] が平穏に生活できるような秩序を維持することであり、[3] はそのために行使される。

[8] により [9] を採用する我が国にあっては、[4] が [5] 者である ([8] 1条)。その意味するところは、[10] の制定する法律 ([8] 41条) や、[11] によるその誠実な執行 ([8] 73条1号) が、[1] として [4] 生活に大なる影響を及ぼすと同時に、[4] 自身による決定・選択と^{みな}見做されることにある。

問1 空欄 ～ にあてはまる適切な語句を語群から選び、記号で答えなさい。

【語群】

ア. 領海 イ. 幸福追求 ウ. 衆議院 エ. 経済 オ. 国家実行
カ. 貴族政 キ. 市民 ク. 民主政 ケ. 統治 コ. 主権
サ. 民法 シ. 領空 ス. 内閣 セ. 権利 ソ. 刑法
タ. 権力 チ. 責任追及 ツ. 憲法 テ. 会計検査院 ト. 住民
ナ. 国民 ニ. 営利追求 ヌ. 君主政 ネ. 国家公務員
ノ. 所有権 ハ. 人事院 ヒ. 国会 フ. 債権 ヘ. 領域
ホ. 権限 マ. 政治 ミ. 参議院 ム. 国家権力

3

次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。

(34点)

現代社会においては、ヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて世界を自由に移動している。このような現象を経済のグローバル化と呼ぶ。グローバル化された経済では、各国は相互に依存し、国際分業が進む。国境を越えた商品やサービスの取引は貿易と呼ばれるが、いったん国際分業が成立すると、貿易が自国の経済活動の前提になり、安定的な貿易が自国経済の繁栄に不可欠となる。

国際分業においては、各国は相対的に生産性の高い産業での生産に特化して異なる商品を生産するようになり、世界全体での生産性が上昇する。したがって貿易をおこなうことは自国にとって利益となる。この考えは [1] によって提唱されたもので [2] 説と呼ばれており、自由貿易^(a)の重要性を示したものと考えられている。

欧米や日本の大企業は、工場を海外につくるなど、国境を超えた生産活動^(b)を行っている。これらの企業の中には、[3] と呼ばれる非課税または税率の低い国や地域に拠点を置いている企業もある。また、企業の合併・買収^(c)や資本提携が世界規模で行われている。さらに情報通信技術の発達は国際金融の活動を飛躍的に拡大し、金融派生商品などを用いた投機的なファンドである [4] ・ファンドを登場させた。

貿易の拡大は一部の国や企業にとって大きな利益をもたらす一方で、格差の拡大や雇用の流出といった負の側面も伴う。そのため、近年では自由貿易だけでなく、発展途上国の産品を適正な価格で継続的に購入する活動^(d)や、国連が掲げた持続可能^(e)な開発目標を重視する動きも見られる。また非政府組織^(f)による発展途上国への援助も活発化している。

問1 空欄 ～ に入る適切な語句を答えなさい。ただし空欄 には人名が入る。

問2 下線部(a)に関し、下記の文章の空欄 , に入る適切な語句を答えなさい。

これとは対照的に、ドイツの経済学者 は、国内の産業が育っていない国においては 貿易を行うべきであると主張した。

問3 下線部(b)のような活動を行い、国連によって「資産を2ないしそれ以上の国において統括するすべての企業」と定義されている企業は何と呼ばれるか、答えなさい。

問4 下線部(c)の「合併・買収」は英語で何と呼ばれるか、略称を答えなさい。

問5 下線部(d)の取り組みを何というか、カタカナで答えなさい。

問6 下線部(e)は英語で何と呼ばれるか、略称をアルファベットで答えなさい。

問7 下線部(f)は英語で何と呼ばれるか、略称をアルファベットで答えなさい。